



11月19日応接室において、剣淵農民連盟（執行委員長佐藤宏和）から米・乳製品・砂糖消費拡大運動として学校給食用食材寄付の目録贈呈式が行われました。

寄付された食材は、剣淵町産ななつぼし 110 kg、砂糖 40 kg、牛乳 40ℓで、小中学校及び高等学校の給食用として活用されます。

佐藤執行委員長は「昨年に引き続き米と牛乳のほか、今年は砂糖の消費拡大につなげ、子どもたちの給食食材として寄付したい」と思いを述べられました。

12月28日役場庁舎正面ロビーにおいて、北ひびき農業協同組合（代表理事組合長榎本実男）から鏡餅が寄贈されました。

毎年寄贈していただいているこの鏡餅は、剣淵町産のもち米を使用しており、総重量約 45 kgです。三段の鏡餅は三色に色づけられ、上段の赤は太陽、中段の白は町民・農民、下段の緑は大地を意味しています。

中村副町長は「今年も鏡餅を寄贈いただきありがとうございます。来年も、町民・農民・農協ともに良い年になるよう願っています」と感謝の意を述べました。



1月7日剣淵町役場前において、新春恒例の消防出初式が行われました。

当日は 28 名の団員が参加し、佐藤武団長を先頭に、団旗を率いて町民の安心安全を守る決意を胸に、力強い行進が行われました。

行進後の式典においては消防団員の表彰が行われ、主な表彰者は次のとおりです。

【北海道知事表彰】

〈30年勤続〉副分団長 多積 稔

【士別地方消防事務組合管理者表彰】

〈30年勤続〉部長 金村 哲也



1月7日桜岡湖（東町）において、ワカサギ釣りが解禁となりました。

毎年恒例となっているワカサギ釣りは、道具をレンタルできることや釣り竿が軽く手軽に楽しめることから、多くの方に人気です。湖に張った氷の状況によって異なりますが、毎年2月下旬頃まで楽しむことができます。

今年は、200 匹釣りあげたといった報告もあり、ワカサギ釣りを楽しんだ方は「ワカサギの群れに当たる運と釣り上げる技術が試される年でした」と感想を述べられていました。

